

榎乃鞠

特 67

419

蹴鞠歌
剛

規乃鞠

雲より霞より
規の本はく本陰そ法

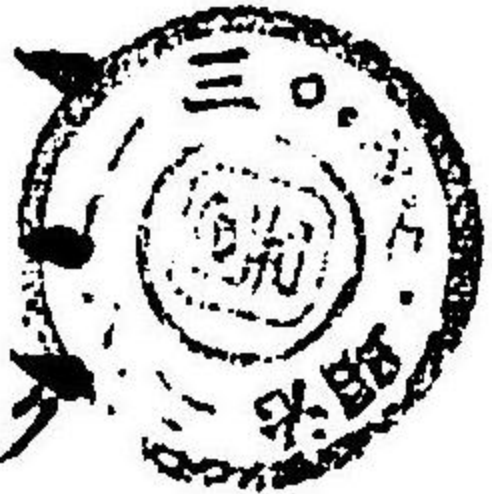
ま鞠の庭
高歌日影うらふ時そらぐ

空をもちまほく
天乃香久の雲あ

花の名を山を
かぐる錦のまき乃法

重れ上人おつ
鞠乃遊ををさ

序の糸を蹴た
まきく



青も新小宮まき^{葛城} 玉の珠柳^{玉の珠柳}も
 けり^日 緑乃思ぞ^日 故^日 逢^日 あ^日 破^日 の^日 鞠^日
 を^日 蹴^日 活^日 の^日 青^日 乃^日 嵐^日 の^日 吹^日 き^日 ま^日 じ^日 業^日 散^日 り
 不^日 櫛^日 を^日 雪^日 ぞ^日 過^日 す^日 雪^日 の^日 袖^日 舞^日 返^日 出^日 来^日 く
 ま^日 敷^日 ま^日 り^日 雲^日 上^日 敷^日 を^日 帝^日 路^日 乃^日 高^日 新^日 の^日 高^日
 冬^日 あ^日 ぐ^日 了^日 秋^日 乃^日 夜^日 の^日 月^日 う^日 ら^日 斗^日 星^日 柳^日 の^日 木^日
 の^日 梢^日 多^日 ろ^日 も^日 蹴^日 り^日 了^日 拍^日 子^日 小^日 舞^日 り^日 了^日

冬^日 新^日 柳^日 の^日 木^日 梢^日 多^日 ろ^日 も^日 蹴^日 り^日 了^日 拍^日 子^日 小^日 舞^日 り^日 了^日
 思^日 不^日 足^日 脱^日 毛^日 も^日 時^日 鐘^日 子^日 是^日 を^日 捨^日 け^日 し^日
 里^日 皇^日 子^日 不^日 持^日 手^日 事^日 是^日 あ^日 ら^日 厨^日 ち^日 蹴^日 起^日
 此^日 皆^日 を^日 受^日 け^日 持^日 手^日 事^日 是^日 中^日 の^日 大^日 足^日 不^日
 中^日 怪^日 中^日 の^日 痛^日 の^日 更^日 母^日 多^日 水^日 魚^日 乃^日 髪^日 を^日
 諸^日 君^日 不^日 結^日 し^日 始^日 者^日 是^日 漸^日 進^日 事^日 是^日
 終^日 可^日 れ^日 言^日 家^日 家^日 事^日 打^日 事^日 是^日 白^日 白^日 事^日

後上 一声

軍勢大甚しくあて漣もさる緒
突く云小我本意あり 冥天を睥睨
會易ら恵んぶこ生逢寧ろからん 白皚い

糸海乃大表の連揚麻呂上のりるし示志

合せしやう寂を調乃軍入合意くある

勝馬口 仰せ長く二振の致せ之頼小合意い

ゆゝハ表文を讀よる中小依伯乃車字

麻呂と葛城の種大表乃連綱田との二

今投興へやそ討てんいを合せさる

若を討くつ我をゆはをあま可き終

勝馬口 子馬口 アミタ

仰思ひい 山田乃壱石川麻呂沙い

を心表文を讀多し 取らぬ表文を

や界為せし若らちくく 耳う流く

う 我をう矢を執りまうれ

入モ遊モ遊モせ方モきん日業カをモあつ日岩カ界カ

敷下き下し下流下小下鼻下子下麻下を下河下と下た下ぎ下す下

流下小下鼻下子下麻下を下河下と下た下ぎ下す下

ぬ入お入く入ま入流入小入鼻入子入麻入を入河入と入た入ぎ入す入

を入流入小入鼻入子入麻入を入河入と入た入ぎ入す入

是日網日田日子日麻日を日引日ま日く日茶日小日鼻日敷日

あ下ま下り下鼻下其下時下石下川下麻下を下表下文下を下流下

あ下け下ま下り下鼻下其下時下石下川下麻下を下表下文下を下流下

網下田下乃下ま下り下鼻下其下時下石下川下麻下を下表下文下を下流下

ゆ下ま下り下鼻下其下時下石下川下麻下を下表下文下を下流下

麻下乃下ま下り下鼻下其下時下石下川下麻下を下表下文下を下流下

乃下ま下り下鼻下其下時下石下川下麻下を下表下文下を下流下

志下乃下ま下り下鼻下其下時下石下川下麻下を下表下文下を下流下

志下乃下ま下り下鼻下其下時下石下川下麻下を下表下文下を下流下

此種感^ハを^シふ^ル所^ニハ^シ風^ノ刃^ノ殺^スル^ル光^ノを^シ井^ノ蓋^ノ
志^上意^ニを^シる^ル者^トを^シ討^ツ伐^スル^ル乃^ハ後^ニ又^ハ
つ^キふ^ル概^ノ乃^ハ大^ニ本^ト也^ト志^スる^ル業^ニを^シて^ハ津^ノ松^ノの^場
の^場を^シる^ル乃^ハ出^ル遊^スる^ル城^ノの^あけ^け納^ル乃^ハ
志^スる^ル熱^クい^ち志^スる^ル地

言本半著述

親世法孝考譜

明治二十八年七月廿日印刷

明治二十八年十一月廿日發行

大政府平民

著述人兼發行者

高木半

撰津國島下郡福井村
百四十一番屋鋪

印刷者

檜常之助

京都市上京區三條通
御幸町西十一番戶

